

(1) 工事コストの低減

中間杭削孔部への流動化処理土充填によるコスト縮減

帝都高速度交通営団 13号線駅部開削工事

[施策の概要]

中間杭の施工手順は、近隣への振動、騒音の影響を避けるため、アースオーガ、アースドリル等で削孔、孔壁の崩壊を防止するためベントナイトモルタルを充填、中間杭（H形鋼杭）の建て込みという方法で行っている。

今回、ベントナイトモルタルに代え、孔壁崩壊防止ができ、掘削時に中間杭から削り取るのが容易な流動化処理土を充填材として用いることとした。

以上より、ベントナイトモルタルと流動化処理土との材料費の差により、コスト縮減を図ることができた。

[施策のポイント]

- ・流動化処理土を用いることから、工事におけるリサイクルの促進につながる。
- ・従来と比較すると、中間杭工事で約1.5%の工事コストの縮減が図られた。

[施策のイメージ図]

